茂原の文化祭　ピックアップ！

日本のこころに触れる　鶴枝公民館

爽やかな秋風を感じる11月初旬、鶴枝公民館の文化祭が開催されました。

自主グループや主催教室、婦人会の方による作品や鶴枝保育所からの可愛らしい絵画も出展されました。

初日から、家族そろって子どもの作品を探している姿も見受けられ、楽しみにしていた気持ちが伝わってくるスタートでした。

力作が並ぶ作品の中でも特に目を引いたのが、かな書道で書かれた百人一首でした。10名の作品を一枚の大きな紙に収めた大作で、足を止めて見入る人もいました。

▲ちはやふる…

また、日本の伝統文化であるお茶会も開催されました。自主グループの皆さんは、素敵な着物姿で「作法にとらわれ過ぎずに、気楽に飲んでいただいて構いませんよ」と声をかけながら、長机と椅子というスタイルでお茶を出していました。

普段、本格的なお点前をいただく機会が少ない中で、日本のおもてなしの心を感じられたひとときでした。

問(25)1834

華やかさと楽しさと　市民会館・中央公民館

今年度末にて閉館が決まっている市民会館で、茂原市民謡舞踊協会による民謡舞踊芸能祭と、茂原市洋舞協会による洋舞フェスティバルが開催されました。どちらも日ごろの成果が発揮されて、高齢者や可愛い子どもたちの踊り手が華麗な舞を披露しました。

また中央公民館では、茂原写友会の写真展、日本郵趣協会茂原支部の切手展、茂原少年少女発明クラブの作品展が開催されました。

どの展示会にも多くの来場者が訪れ、普段目にする機会のない展示品の数々に、誰もが興味津々の様子でした。

来年度は、残念ながら市民会館での催し物はありませんが、中央公民館では引き続き文化祭を開催する予定ですので、多くの皆さんの参加をお待ちしています。

問(22)5072

未来の芸術家発見！　美術館・郷土資料館

茂原公園を四季折々の季節の変化を楽しみながら歩いていくと、美術館・郷土資料館の緑の屋根が見えてきます。ここでは、文化祭が各所で行われた時期よりも少し長く作品の展示が行われました。

今年度は、11月1日～11日までが一般の方、12月6日～12日は小中学校書写美術展、幼稚園・保育園絵画展と塾書道展を行いました。大人の作品も目を奪われる出来栄えですが、子どもたちの作品はまた違った素晴らしさがあります。子どもらしさと生き生きとした空気があふれ、見ているだけで笑顔になれる、元気を感じる展示となりました。

多くの方々が訪れ、ひときわ賑わいを見せました。

問(26)2131

▲小学生の作品展示

遠い昔に想いを馳せて　東部台文化会館

10月19日・20日に文化庁優秀映画鑑賞推進事業として、35ミリフィルムによる名作映画の上映会を開催しました。

初日は、堀川弘通監督作品の『あすなろ物語』と、森川時久監督作品の『次郎物語』、2日目は、伊藤俊也監督作品の『風の又三郎ガラスのマント』と、篠田正浩監督作品の『少年時代』の各日2作品を有料で上映しました。

来場者は延べ610人となり、上映後のアンケートには「自分の子供のころの懐かしい風景や、若かりしころの出演者の情にあつい演技に感動した」「これからもまた懐かしい映画を鑑賞したい」など数多くの意見をいただきました。

今後も、良質な映画を提供していきますのでぜひご来場ください。

問(23)8711

装いも新たに　本納公民館

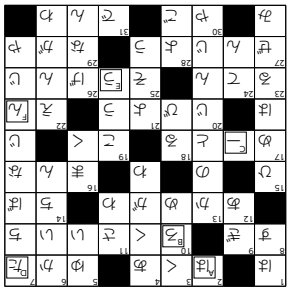
本納公民館は、今年度の文化祭を初めてほのおか館で開催しました。

長年、活動している自主グループや一般参加団体、本納文化財顕彰会の方々の協力で、新たな会場に映える作品の展示や舞台発表が行われました。

今後もより多くの皆さんに来館していただけるよう工夫をしていきたいと思います。

問(34)2349

解答：ハロータウン



◆「ハロータウン」は、「広報もばら」7月1日号、10月1日号、1月15日号の中に折り込んで発行しています。